



茨城県立中央病院

病院の概要

開設	昭和31年1月
開設者	茨城県
院長名	吉川 裕之
病床数	500床（一般475床、結核25床）
標榜科 (35科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科
医師数	163名（平成30年12月1日現在。研修医を除く。）
指導医数	74名
研修医数	26名（平成30年12月1日現在）
研修医の主な 出身大学	自治医大学、筑波大学、東京大学、北海道大学、旭川医科大学、弘前大学、福島県立医科大学、日本医科大学、京都府立医科大学、福井大学、近畿大学、愛知医科大学、宮崎大学、慶応大学、北里大学、杏林大学、関西医科大学、獨協医科大学 他
外来患者数	1,038人（平成29年度実績平均）
入院患者数	407人（平成29年度実績平均）

募集要項

応募資格	・2019年度第114回医師国家試験に合格見込みの方 ・既に医籍登録され臨床研修を未実施の方。
採用人数	12名（見込み）
試験日程	当院のホームページ等でご確認ください。 http://www.i-kenshu.jp/
選考方法	筆記試験、面接試験
処遇	<ul style="list-style-type: none"> ■身分：臨床研修医 ■給与（平成29年度実績平均） 1年次月額約504,707円 2年次月額約562,625円 ■賞与：雇用期間6ヶ月間を超える場合に支給 （7月期は基本額の0.5ヶ月分、12月期は同1.0か月分） ■社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険 ■住居補助：茨城県病院局代用公舎制度利用可 （入居費用は一部を除き病院負担。毎月、費用の一部を入居者が負担。詳細はお尋ね下さい。）

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…院内宿泊室利用可（応相談）
- 問い合わせ先…担当者：臨床研修センター
村上、鶴井、田口
TEL：0296-77-1121（代表）
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院

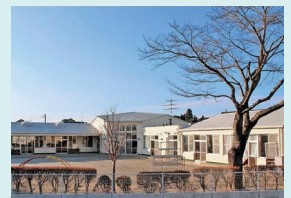
臨床研修管理委員会事務局 田口・鶴井
〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528
TEL：0296-77-1121
FAX：0296-77-2886
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp
URL：http://www.i-kenshu.jp/



- JR常磐線 ■ JR水戸線
友部駅より 徒歩 20分
バス 5分
タクシー 5分
- 北関東自動車道 友部ICより約15分
- 常磐自動車道 水戸ICより約20分
友部SAスマートICより約10分（ETC専用）

女性医師支援

平成30年度研修医の女性医師の比率は、32名中10名、31.3%で、女性医師の活躍の場面はますます増加しています。それに伴い、女性専用仮眠室が設置されるなど、妊娠中や育児中の宿日直研修の免除をはじめ、多様な女性医師支援の取り組みがされています。なお、院内保育園（24時間保育）を活用した育児と臨床研修の両立も可能です。



ひまわり保育園（24時間保育）

研修プログラムの特色

- 1 研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
- 2 各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
- 3 自治医大、筑波大、東大から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気のある臨床研修に臨めます。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (6)						外科 (2)		※1 (4)			
2年次	地域医療 (2)		精神科 (1)	※2		※3	※4 (2又は3)		※5 (4又は5)			

- ※1 希望を調査し全体調整を経て次の分野から組み合わせて研修します。
 ※2～5 2年次の院外研修（必修科，病院必修科，自由選択科）は6ヶ月間まで。
 ※2 1年次に院内小児科を研修していない場合は小児科を、研修した場合は自由選択科を研修。
 ※3 1年次に院内産婦人科を研修していない場合は産婦人科を、研修した場合は自由選択科を研修。
 ※4 1年次に救急分野を研修していない場合は救急分野を、研修した場合は自由選択科を研修。 ※5 院内外の選択科を研修。

専門研修の募集について

現在、内科、外科、総合診療の各基本領域で基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。詳細は当院のホームページをご確認ください。

研修・認定施設一覧

- ・専門研修関係
 - 内科専門研修プログラム基幹施設
 - 内科専門研修プログラム連携施設
(基幹：水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、筑波大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター)
 - 外科専門研修プログラム基幹施設
 - 外科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院、防衛医科大学校病院、東京大学医学部附属病院)
 - 総合診療専門研修プログラム基幹施設
 - 産婦人科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
 - 小児科専門研修プログラム関連施設
(基幹：筑波大学附属病院、茨城県立こども病院)
 - 耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
 - 泌尿器科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院)
 - 病理科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院)
 - 救急科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院)
- 形成外科専門研修プログラム関連施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- リハビリテーション科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- 皮膚科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- 整形外科専門研修プログラム連携施設
(基幹：東京大学医学部附属病院)
- 放射線科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- 眼科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- 脳神経外科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- 麻酔科専門研修プログラム連携施設
(基幹：筑波大学附属病院)
- ・学会認定関係
 - 日本内科学会認定内科認定医教育病院
 - 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 - 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
 - 日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
 - 日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設 (A)
 - 日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
 - 日本形成外科学会教育関連施設
 - 日本救急医学会救急科専門医指定施設
 - 日本麻酔学会麻酔科認定病院
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会病理専門医制度認定病院 B
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医研修施設
- ・サブスペシャリティ研修関係
 - 日本リウマチ学会認定施設
 - 日本消化器学会認定施設
 - 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - 日本呼吸器学会認定施設
 - 日本血液学会血液研修施設
 - 日本神経内科学会准教育施設
 - 日本腎臓学会研修施設
 - 日本糖尿病学会認定教育施設 I
 - 日本肝臓学会認定施設
 - 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連認定施設
 - 日本消化器外科学会認定専門医修練施設
 - 日本周産期・新生児医学会暫定研修認定施設
 - 呼吸器外科専門医認定機構認定基幹施設
 - 日本集中治療医学会専門医研修認定施設
 - 日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
 - 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・その他施設等
 - JCOG婦人科腫瘍グループ参加施設
 - JCOG肺がん外科グループ参加施設
 - JCOG消化器内視鏡グループ参加施設
 - JCOG食道がんグループ参加施設
 - 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設
 - 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働認定施設
 - 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業研修施設
- ・その他修練施設指定等
 - 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
 - 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 - 日本臨床細胞学会教育研修施設
 - 日本核医学会専門医教育病院

病院からメッセージ



プログラム責任者・研修実施責任者 小島 寛 副院長

当院の初期研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標とし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。初期研修の2年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデント・レクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大学病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。2年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



研修医 稲葉 康記

豊富な症例数、研修環境の多様性が当院の魅力です。当院は、地域医療の要としての役割を持ち合わせた二次救急病院であり、通年の救急宿日直研修や平日の救急当番研修で、軽症から重症まで様々な症例を体験することができます。熱心で面倒見の良い各科の指導医のもと、自ら検査計画や治療計画を立てたり、多くの検査や手技を行うことができます。コメディカルや事務の方々も優しい方々ばかりです。様々な大学から集まった様々な年齢の、これまで異なった環境で生活してきた同期と過ごすなかで学ぶことも多くあります。悩んだり壁にぶつかることもありますが、同じ志を持った同期と切磋琢磨し、日々、成長を感じています。